

# 第106回 関八州美晴台ハイキング

第五支部 東邦化成株式会社

高橋 朗

2022年12月18日 快晴

今回ハイキング同好会は、関八州美晴台(771.1m)を目指します。ルートは間野集落登山口から高山不動尊を経て関八州美晴台、顔振峠経由で吾野駅へ向かうルートで全行程4時間15分の予定です。

2022年12月18日、快晴、気温3℃。西武秩父線西吾野駅に9時30分に集合しました。参加者は、大井さん、石井さん、弊社磯部、乾さん、山本さん、原夫人、高橋の7名です。

吾野駅より間野集落登山口に向かいます。前日夜に雨が降っていた為、足元の心配をしておりましたが、雨量は少なかったようで、軽く地面が湿っている程度でした。出発しておよそ15分、間野集落の分岐が現れます。分岐を高山不動尊方面へ向かいますと民家の間の少し急な坂道に入ります。そのまま登って行きますと登山道へ入りました。登山道は急な斜面の木立の間を登って行きます。前日の雨の影響は全くありませんが、足元は岩肌で滑り易くなっている箇所もあり、気を付けて足を運んで行きました。時折木々の間から周りの山々が見え、快晴と相まって足取りも軽くなります。

高山不動への分岐に到着しました。高山不動尊へのアプローチは二手あり、左はそのまま本堂へ、右は下り高山不動尊石段正面に出るルートです。大井さんと私は右ルートで進みます。そこに待っていたのは推定樹齢800年の高山不動大イチョウ。立派な名木で、その右を見ると開けており山々が望めます。これは右ルートを選んで正解でした。後ろを見ると本堂へ向かう120段の石段があります。石段の上から右ルートで先に本堂へ到着した原夫人の黄色い声援があり、大井さんと石段をダッシュで駆け上がりましたが、三分の二位でバテました。本堂へ息を切らしながら到着しましたが、疲れて息を整えるのに必死で、本堂は参拝だけして休憩しました。

高山不動尊から約20分で関八州見晴台へ到着しました。そこには素晴らしい眺望が待っておりまして。丹沢、秩父連峰の山々が雄大な姿があり、疲れも吹き飛びます。ひとしきり眺望を堪能した所で昼食を取ります。石井さんの持参して頂いたビールで乾杯。次は乾さんから日本酒を頂きました。石井さん、乾さん、ありがとうございました。おつまみは弊社磯部から前日にブロックハムを預かっておりまして。ナイフでカットします。しかし頂上は風が強く寒いので、手がかじかんで薄くハムを切れず(などと言い訳をします。)サイコロステーキ状にカットしてご提供致しました。結果は、なかなかの歯ごたえとなってしまう皆様から厳しくも温かいお言葉を頂くこととなりました。お腹を満たした所で顔振峠へ向けて出発。酔っぱらっている

事もあり、足取りも軽く進みます。おおよそ90分程で吾野駅へ到着。吾野駅手前には、高山不動尊の石段のように長い階段が待ち受けておりました。最後のこの階段が一番きつかったです。

本日の行程は総距離14.77km、所要時間はスタートから休憩時間を含め5時間16分、歩数は23,831歩という内容でした。皆様お疲れ様でした。

打ち上げ会場の飯能駅に向かいます。飯能の森田製麺所でお土産のうどんを購入しました。ここのうどんはコシがあり美味しいです。そして打ち上げ会場の「や台ずし」に到着。若林さん、磯川さんと合流し、ビールで乾杯。楽しい忘年会を過ごさせて頂きました。皆様今年も大変お世話になりました。来年もどうぞ宜しくお願い致します。